



相談員日記

浪江町 健康保険課 放射線対策係



放射線相談員 西垣 卓馬 様

平成 28 年 9 月から健康保険課で放射線相談員として活動しています。放射線について住民から相談される内容は多岐にわたりますが、町外の方からも浪江町の状況について問合せが来ることがあります。

あるとき、息子さんが浪江町で働いていることを心配した女性から「息子は“大丈夫”か」という電話がありました。その女性が総合受付に電話をした際に対応した職員が、この相談内容は健康保険課の放射線対策係だろう、とすぐに回してくれました。

女性から問いかけられた“大丈夫”には浪江の空間線量、食べ物、空気、水は大丈夫か、と生活上の様々な内容が含まれていると感じ、そういったことを知りたいのか確認するとそうだとおっしゃるので、息子さんの住んでいる大体の場所を聞き、その場所における1時間あたりの空間線量から計算した年間の被ばく線量、WBC 結果、水道水のモニタリング内容等、町の現状を説明し、町の取組みについてお伝えしました。そのうちに、電話口で相談者が涙を流し始めたことに気づきました。理由を聞くと、以前息子さんのところを訪ねたとき、放射線に対する不安から警察官や町で歩いている人をつかまえてまで聞いてみましたが、納得した答えが返ってこなかったそうです。そのため、今回の電話相談を通して、気になっていたことに答えてもらえたことが安心につながったようです。

浪江町役場には、適切な担当部署に速やかに繋げてもらえたり、こちらでわからないことがあっても課・係をまたいで気軽に質問できる気風があると思います。他の組織等との連携も大切なことですが、まずは他部署や職員の専門や得意分野が何かを把握し、住民からの問合せに速やかに対応できる体制づくりが基本になると思います。

